



本書をお読みになる前に

本書の表記

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	ハードウェアやソフトウェアを正しく動作させるために必要なことが書いてあります。必ずお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■ キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

■ DVD-ROM ドライブの表記について

本書では、DVD-ROM ドライブを「CD/DVD ドライブ」と表記しています。

■ コマンド入力（キー入力）

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

```
diskcopy a: a:
  ↑  ↑
```

- ↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キーを1回押してください。
- 使用するOSがWindowsまたはDOSの場合は、コマンド入力を英大文字、英小文字のどちらで入力してもかまいません。
- お使いの環境によって、「¥」が「\」と表示される場合があります。
- CD/DVD ドライブのドライブ文字は、お使いの環境によって異なるため、本書では【CD/DVD ドライブ】で表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ文字を入力してください。
【CD/DVD ドライブ】:¥setup.exe

■ 画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■ 連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつないで表記しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム（またはプログラム）」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称の略称

製品名称	本文中の表記		
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard	Windows Server 2008 Standard (32-bit)	Windows Server 2008 Standard	Windows Server 2008
	Windows Server 2008 Standard (64-bit)		
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-V™	Windows Server 2008 Standard (32-bit)	Windows Server 2008 Enterprise	Windows Server 2008
	Windows Server 2008 Standard (64-bit)		
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise	Windows Server 2008 Enterprise (32-bit)	Windows Server 2008 Enterprise	Windows Server 2008
	Windows Server 2008 Enterprise (64-bit)		
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise without Hyper-V™	Windows Server 2008 Enterprise (32-bit)	Windows Server 2008 Enterprise	Windows
	Windows Server 2008 Enterprise (64-bit)		
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition	Windows Server 2003		
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition	Windows Server 2003 R2		
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition	Windows Server 2003 x64 [注 1]		
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition	Windows Server 2003 R2 x64		
Microsoft® Windows® Small Business Server 2003	SBS 2003 [注 1]		
Microsoft® Windows® Small Business Server 2003 R2	SBS 2003 R2		
Microsoft® Windows Server® 2003 Service Pack	Service Pack		
Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Service Pack	Service Pack		

[注 1] 本書内で特に断りがない箇所は、Windows Server 2003 に含まれます。

*Windows Server 2008 の対応状況について

弊社 HP (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/>) に随時最新情報を掲載しています。ご確認ください。

■ 商標

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

インテル、Intel、Xeon、Pentium、Celeron は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

Copyright FUJITSU LIMITED 2008

目次

第 1 章	OS インストールタイプの手動開封	6
1.1	Windows Server 2003 R2 の手動開封	7
1.2	SBS 2003 R2 の開封手順	9
第 2 章	Windows Server 2003 x64 のインストール	11
2.1	インストール前の準備	12
2.1.1	ドライバディスクの作成	12
2.1.2	アレイの構成	13
2.1.3	内蔵オプションの取り付け.....	14
2.2	インストール手順	15
2.3	SAS カードドライバのインストール.....	18
2.3.1	SAS カードドライバの更新	18
2.3.2	SAS カードドライバのインストール.....	19
第 3 章	Windows Server 2003 のインストール	20
3.1	インストール前の準備	21
3.1.1	ドライバディスクの作成	21
3.1.2	アレイの構成	22
3.1.3	内蔵オプションの取り付け.....	23
3.2	インストール手順	24
3.3	SAS カードドライバのインストール.....	27
3.3.1	SAS カードドライバの更新	27
3.3.2	SAS カードドライバのインストール.....	28
第 4 章	Windows Server 2008 のインストール	29
4.1	インストール前の準備	30
4.1.1	ドライバディスクの作成	30
4.1.2	アレイの構成	31
4.1.3	内蔵オプションの取り付け.....	32
4.2	インストール手順	33
4.3	SAS カードドライバの更新.....	40
第 5 章	Windows Server 2008 Server Core のインストール	41

目次

5.1	インストール前の準備	42
5.1.1	ドライバディスクの作成	42
5.1.2	アレイの構成	43
5.1.3	内蔵オプションの取り付け	44
5.2	インストール手順	45
5.3	SAS カードドライバのインストール	52

第 1 章

1

OS インストールタイプの手動開封

OS インストールを手動で開封する手順を説明します。

- 1.1 Windows Server 2003 R2 の手動開封
- 1.2 SBS 2003 R2 の開封手順

1.1 Windows Server 2003 R2 の手動開封

次の手順に従って、Windows Server 2003 R2 のセットアップを行ってください。開封時の設定の詳細については、次の URL を参照してください。

<http://technet2.microsoft.com/windowsserver/ja/default.aspx>

- 1 サーバの電源を入れ、次のメッセージが表示されたら、【Ctrl】 + 【F】 キーを押します。

スタートアップディスク (ServerStart) を使用すると、区画サイズの変更、高信頼ツールのインストールが可能です。スタートアップディスクを挿入し、Ctrl+Alt+Del を押してください。

Windows Server 2003 セットアップが起動し、「Windows セットアップウィザードの開始」画面が表示されます。

- 2 [次へ] をクリックします。

ライセンス契約の画面が表示されます。

- 3 表示された使用許諾契約の内容をよく読んだうえで、[同意します] を選択して [次へ] をクリックします。

ソフトウェアの個人用設定の画面が表示されます。



[同意しない] を選択してセットアップを終了した場合、再度開封したときにインストールドライブのサイズが規定値 (12GB) 以上になります。必ず [同意します] を選択して開封処理を行ってください。

- 4 名前と組織名を入力し [次へ] をクリックします。

組織名は省略できます。

ライセンスモードが表示されます。

- 5 ライセンスモードを設定し、[次へ] をクリックします。

- 6 コンピュータ名と Administrator のパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。

コンピュータ名は自動的に作成されて表示されますが、変更できます。

- 7 ネットワークの設定を行い、[次へ] をクリックします。

「カスタム設定」を選択した場合は、「ネットワーク コンポーネントの設定」画面が表示されます。

- 8 ワークグループ、またはドメイン名を設定し、[次へ] をクリックします。

自動的に再起動が行われ、Windows Server 2003 R2 が起動します。

- 9 Administrator でログオンします。

セットアップ後のセキュリティ更新の画面が表示されます。画面の説明をよくお読みいただき、必要な操作を行ってください。



- ◆ 「セットアップ後のセキュリティ更新」が完了するまで、すべての着信接続はブロックされます。
- ◆ 「セットアップ後のセキュリティ更新」を完了後、コンピュータを再起動してから運用を開始してください。

10 高信頼ツールをインストールします。

サーバの安定稼動のため、本体に添付の PRIMERGY スタートアップディスクから、高信頼ツールのインストールを行ってください。インストール手順などは『ユーザーズガイド』を参照してください。

11 RAID 管理ツール (ServerView RAID) のインストールおよび各ツールの設定を行います。

必要な設定は、ご使用のアレイコントローラにより異なります。詳細および設定方法については、アレイコントローラ ドキュメント & ツール CD 内のマニュアルを参照してください。

- アレイ管理者アカウントの設定
- HDD チェックスケジューラの設定
- バッテリリキャリブレーションスケジューラの設定
- 監視端末もしくは e-メールによる故障イベント監視設定

これで Windows Server 2003 R2 の開封作業は終了です。

初回起動時は、必ず Administrator でログオンしてコンピュータを再起動してから運用を開始してください。

■ 運用を開始する前に

OS インストール後は『ユーザーズガイド』の「第 4 章 OS インストール後の操作」を参照し、必要な操作を行ってください。

1.2 SBS 2003 R2 の開封手順

SBS 2003 R2 の場合は、ServerStart による OS の開封操作は行えません。次の手順に従って、SBS 2003 R2 を開封してください。開封時の設定の詳細については、次の URL を参照してください。

<http://technet2.microsoft.com/windowsserver/ja/default.aspx>

1 サーバの電源を入れます。

SBS 2003 R2 セットアップが起動し、「Windows セットアップウィザードの開始」画面が表示されます。

2 [次へ] をクリックします。

ライセンス契約の画面が表示されます。

3 表示された使用許諾契約の内容をよく読んだうえで、[同意します] を選択して [次へ] をクリックします。

ソフトウェアの個人用設定の画面が表示されます。

4 名前と組織名を入力し [次へ] をクリックします。

組織名は省略できます。

コンピュータ名と Administrator のパスワードの画面が表示されます。

5 コンピュータ名と Administrator のパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。

コンピュータ名は自動的に作成されて表示されます。変更することもできます。

6 自動的に再起動が行われ、ログオン画面が表示されます。

7 Administrator でログオンします。

ホットフィックス（修正プログラム）の適用が自動的に行われます。

ホットフィックス（修正プログラム）適用後、「ホットフィックス（修正プログラム）適用が完了しました。設定を有効にするためにこのウィンドウが閉じられた後、再起動してください。再起動後、Windows Small Business Server 2003 セットアップを実行します。」のメッセージが表示されます。

何かキーを押してウィンドウを閉じ、手動で再起動してください。

再起動後、ログオン画面が表示されます。

8 Administrator でログオンします。

「Microsoft Windows Small Business Server セットアップ」画面が表示されたら、[Windows Small Business Server のセットアップ] をクリックします。

次の画面が表示されます。



9 [キャンセル] をクリックしてインストール作業を中断します。

10 ネットワークケーブルを接続し、TCP/IP の構成を行います。

11 デスクトップ上の [セットアップの続行] をダブルクリックします。

「Microsoft Windows Small Business Server セットアップ」画面が表示されたら、[次へ] をクリックし、以降、ウィザードに従いセットアップ作業を続行します。



Microsoft Windows Small Business Server セットアップを途中でキャンセルした場合は、デスクトップ上の [セットアップの続行] を実行し、セットアップを続行できます。デスクトップ上に [セットアップの続行] アイコンがない場合は、"C:\\$SBS2003\CD1\Setup.exe" を実行してください。

12 CD/DVD ドライブにインストール CD-ROM Disc5 をセットし、SBS 2003 R2 のセットアップを行います。

自動的に Windows Small Business Server 2003 R2 のセットアップ画面が表示されます。Exchange Server SP2、Windows Share Point Service SP1、Windows Small Business Server 2003 R2 の順にインストールを行ってください。

13 高信頼ツールをインストールします。

サーバの安定稼働のため、本体に添付の PRIMERGY スタートアップディスクから、高信頼ツールのインストールを行ってください。インストール手順などは『ユーザーズガイド』を参照してください。

14 RAID 管理ツール (ServerView RAID) のインストールおよび各ツールの設定を行います。

必要な設定は、ご使用のアレイコントローラにより異なります。詳細および設定方法については、アレイコントローラ ドキュメント & ツール CD 内のマニュアルを参照してください。

- アレイ管理者アカウントの設定
- HDD チェックスケジューラの設定
- バッテリリキャリブレーションスケジューラの設定
- 監視端末もしくは e-メールによる故障イベント監視設定

これで SBS 2003 R2 の開封作業は終了です。初回起動時は、必ず Administrator でログオンしてコンピュータを再起動してから運用を開始してください。

■ 運用を開始する前に

OS インストール後は『ユーザーズガイド』の「第 4 章 OS インストール後の操作」を参照し、必要な操作を行ってください。

第 2 章

Windows Server 2003 x64 の インストール

2

手動で Windows Server 2003 x64 をインストールする手順を説明します。

- 2.1 インストール前の準備
- 2.2 インストール手順
- 2.3 SAS カードドライバのインストール

2.1 インストール前の準備

インストールを開始する前に必要な準備について説明します。

2.1.1 ドライバディスクの作成

インストールに必要なドライバディスクをあらかじめ作成します。ドライバディスクはご購入の本体に添付されている PRIMERGY スタートアップディスクを使用して作成します。ドライバディスクの作成方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

■ アレイコントローラのドライバ

ご使用のアレイコントローラを確認のうえ、次のいずれかのドライバディスクを作成してください。

使用するアレイコントローラ	フロッピーディスク名称
SAS アレイコントローラカード (MegaRAID SAS)	MegaRAID SAS Windows Server 2003 for x64 Edition Drivers Disk
SAS コントローラカード (Integrated Mirroring SAS) または、アレイ未構成時 (SAS ハードディスク)	Integrated Mirroring SAS Windows Server 2003 for x64 Edition Drivers Disk

■ オンボード LAN / 拡張カードのドライバ

機種により作成するドライバディスクが異なります。ご使用の機種をご確認のうえ、ドライバディスクを作成してください。



最新のドライバは、インターネット情報ページ内の『ダウンロード』で提供しています。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>

オンボード LAN / 拡張カード	ドライバ
オンボード LAN/LAN カード (PG-285L/PG-2861L/PG-289L/PG-288L)	Onboard / PG-18xx/28xx LAN Driver V13.1
SCSI カード (PG-2281L)	OS 標準提供のドライバ
上記以外の拡張カード	各拡張カードに添付のドライバ

2.1.2 アレイの構成

アレイ構成で運用を行う場合は、OS をインストールする前に、アレイを構成してください。

1 サーバの電源を入れます。

2 RAID を構成します。

使用するアレイコントローラにより、作成方法が異なります。

SAS コントローラカード (Integrated Mirroring SAS) を使用の場合

次のメッセージが画面に表示されたら **【Ctrl】 + 【C】** キーを押します。

Press Ctrl C to start LSI Logic Configuration Utility

BIOS Utility が起動します。

以降の操作は、アレイコントローラ ドキュメント & ツール CD 内の『Integrated Mirroring SAS ユーザーズガイド』を参照してください。

SAS アレイコントローラカード (MegaRAID SAS) を使用の場合

サーバ本体の電源を入れ、次のメッセージが画面に表示されたら **【Ctrl】 + 【H】** キーを押します。

Press <Ctrl><H> for WebBIOS or Press <Ctrl><Y> for Preboot CLI

WebBIOS が起動します。

以降の操作は、アレイコントローラ ドキュメント & ツール CD 内の『MegaRAID SAS ユーザーズガイド』を参照してください。

3 サーバの電源を切ります。

2.1.3 内蔵オプションの取り付け

OS インストールの前に、内蔵オプションを取り付けます。内蔵オプションの取り付け方法については、『ユーザーズガイド』の「第 6 章 内蔵オプションの取り付け」を参照してください。



OS をインストールするサーバに、次の内蔵／外付けオプション装置がすでに取り付けられている場合は、次の「■ OS インストール前の留意事項」を必ずご確認ください。留意事項を確認せずに OS をインストールすると、誤った媒体に OS がインストールされる場合がありますので、ご注意ください。

- ・内蔵データカートリッジドライブユニット
- ・内蔵ハードディスクユニットベイ変換機構
- ・ETERNUS などの外付けストレージシステム

■ OS インストール前の留意事項

● 内蔵データカートリッジドライブユニットをご使用の場合

インストール前に必ずデータカートリッジドライブの接続ケーブルを本体よりはずしてください。

インストール完了後接続ケーブルを再度接続し、ご使用ください。

● ETERNUS などの外付けストレージシステムをご使用の場合

AC ケーブルを接続しないなど、OS のインストールが終了するまで、外付けストレージシステムの電源を入れないでください。

2.2 インストール手順

Windows Server 2003 x64 の手動インストール手順について説明します。



- ◆ OS の詳細の設定については、次の URL を参照してください。
<http://technet2.microsoft.com/windowsserver/ja/default.mspix>
- ◆ 外付けのフロッピーディスクを使用する場合は、サーバの電源を入れる前に、USB 接続のフロッピーディスクドライブが接続されていることを確認してください。

■ 用意するもの

- Windows Server 2003 x64 の CD/DVD (インストールディスク)
- PRIMERGY スタートアップディスク (本体に添付)
- あらかじめ作成したドライバディスク

1 サーバの電源を入れます。

2 Windows Server 2003 x64 の CD/DVD、アレイコントローラのドライバディスクをセットします。

サーバの電源を入れてすぐに Windows Server 2003 x64 の CD/DVD を CD/DVD ドライブに、アレイコントローラのドライバディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。ハードディスクにアクティブ領域が設定されていると、画面に次のメッセージが表示されます。

Press any key to boot from CD. . . .

この場合、メッセージが表示されている間に何かキーを押すことで、CD/DVD ドライブからブートします。

3 Windows Server 2003 x64 セットアップ画面が表示されます。

セットアップ画面表示直後に次のメッセージが画面下に表示されるので、【F6】キーを押します。

Press F6 if you need to install a third party SCSI or RAID driver ...



このメッセージは、セットアップ画面 (青い画面) が表示された直後のわずかな時間しか表示されませんので、画面が青色に変わった後すぐに【F6】キーを押してください。

4 アレイコントローラのドライバを手動で組み込みます。

1 次のメッセージが表示されたら【S】キーを押します。

To specify additional SCSI adapters, CD-ROM drives, or special disk controllers for use with Windows, including those for which you have a device support disk from a mass storage device manufacturer, press S.

2 「Please insert the disk labeled Manufacturer-supplied hardware support disk into Drive A:」というメッセージが表示されたら、【Enter】キーを押します。

次のメッセージが表示されます。

You have chosen to configure a SCSI Adapter for use with Windows, using a device support disk provided by an adapter manufacturer.
Select the SCSI Adapter you want from the following list, or press ESC to return to the previous screen.

なお、これらのメッセージは表示されない場合があります。

3 お使いのコントローラにより、次を選択して【Enter】キーを押します。

- ・ SAS コントローラカード (Integrated Mirroring SAS) の場合

LSI Logic Fusion-MPT SAS Driver (Server 2003 x64)

- ・ SAS アレイコントローラカード (MegaRAID SAS) の場合

LSI Logic MegaRAID SAS RAID Controller Driver (Server 2003 for x64)

4 次のメッセージが表示された場合は、【S】キーを押します。

The driver you provided seems to be newer than the Windows default driver.

5 画面の指示に従って、インストールを行ってください。

インストール中にフロッピーディスクをセットするようメッセージが表示された場合は、ドライバディスクをセットして【Enter】キーを押してください。

5 セットアッププログラムの指示に従って、インストール作業を続行します。

インストール途中、ドライバが Windows との互換性を検証する Windows ログテストに合格していない旨のメッセージが表示された場合は、[はい] を選択してインストールを続行してください。

6 PRIMERGY スタートアップディスク (ServerStart) 内のホットフィックスモジュールを適用します。

次のコマンドを実行し、ホットフィックスモジュールを適用してください。

[CD/DVD ドライブ] :%HotFix%W2k3x64%WindowsServer2003.WindowsXP-KB940467-v2-x64-ENU.exe

7 チップセットドライバをインストールします。

1 PRIMERGY スタートアップディスクをサーバにセットします。

ServerStart の画面が表示された場合は、いったん ServerStart を終了します。

2 PRIMERGY スタートアップディスク内の次のコマンドを実行します。

[CD/DVD ドライブ] :%DRIVERS%ChipSet%Intel%5100%infinst_autol.exe

インストールウィザードが起動します。

3 [次へ] をクリックし、以降、画面の指示に従ってインストールを行ってください。

4 「セットアップ完了」と画面に表示されたら、PRIMERGY スタートアップディスクを CD/DVD ドライブから取り出し、[完了] をクリックしてシステムを再起動します。

8 ディスプレイドライバをインストールします。

1 PRIMERGY スタートアップディスクをサーバにセットします。

ServerStart の画面が表示された場合は、いったん ServerStart を終了します。

2 PRIMERGY スタートアップディスク内の次のコマンドを実行します。

本体標準 VGA をご使用の場合

[CD/DVD ドライブ] :%DRIVERS%VIDEO%MATROX%w2k3%install_kronos2_vga.bat

9 LAN ドライバをインストールします。

以下の Web から最新の LAN ドライバをダウンロードして、そのドライバと同時にダウンロードできる手順書にしたがって LAN ドライバをインストールしてください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>

また、デバイスマネージャで表示されるオンボード LAN の名称は次のようになります。

Intel® 82567LM-4 Gigabit Network Connection

10 SAS カードドライバをインストールします。

あらかじめ用意したドライバディスクを使用して、SAS カードドライバをインストールします。

詳細は [「2.3 SAS カードドライバのインストール\(P.14\)」](#) を参照してください。

11 Windows Server 2003 x64 Service Pack を適用します。

詳細については、画面の説明を参照してください。

Service Pack 適用時に、ドライバが Service Pack 内のドライバに置換される場合があります。詳細については、各ハードウェアに添付のマニュアルを参照してください。

12 高信頼ツールをインストールします。

サーバの安定稼働のため、本体に添付の PRIMERGY スタートアップディスクから、高信頼ツールのインストールを行ってください。インストール手順などは『ユーザーズガイド』を参照してください。

13 RAID 管理ツール (ServerView RAID) のインストールおよび各ツールの設定を行います。

必要な設定はご使用の阵列コントローラによります。詳細および設定方法については、阵列コントローラ ドキュメント & ツール CD 内のマニュアルを参照してください。

- 阵列管理者アカウントの設定
- HDD チェックスケジューラの設定
- バッテリリキャリブレーションスケジューラの設定
- 監視端末もしくは e-メールによる故障イベント監視設定

これで Windows Server 2003 x64 のインストールは終了です。

■ 運用を開始する前に

OS インストール後は『ユーザーズガイド』の「第 4 章 OS インストール後の操作」を参照し、必要な操作を行ってください。

2.3 SAS カードドライバのインストール

2.3.1 SAS カードドライバの更新

次の手順で SAS カードドライバの更新を行います。

- 1 「スタート」 ボタン→「管理ツール」 →「コンピュータの管理」の順にクリックします。
- 2 「デバイスマネージャー」 をクリックします。
- 3 「SCSI と RAID コントローラ」 をダブルクリックします。
- 4 「LSI Adapter, SAS 3000 Series,・・・」 で始まるデバイスをダブルクリックします。

SAS カードデバイス名については次表を参照してください。

SAS カード	デバイス名
PG-224B	LSI Adapter,SAS 3000 series,4-port with 1064E-StorPort
PG-228B/BL	LSI Adapter,SAS 3000 series,8-port with 1068E-StorPort

- 5 [ドライバ] タブを選択し [ドライバの更新] をクリックします。
- 6 「いいえ、今回は接続しません」を選択し、[次へ] をクリックします。
- 7 「一覧または特定の場所からインストールする」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 8 「検索しないで、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 9 フロッピーディスクドライブに PRIMERGY スタートアップディスクから作成したフロッピーディスクを挿入してください。
- 10 ディスク使用をクリックし製造元のファイルのコピー元に "A : ¥" と入力し、「OK」をクリックします。
- 11 モデル欄から「LSI Adapter, SAS 3000 series, 4-port with 1064E- StorPort」または「LSI Adapter, SAS 3000 series, 8-port with 1068E- StorPort」で始まるデバイスを選択し、「次へ」をクリックします。
- 12 インストールが完了したら「完了」をクリックし、「ハードウェアの更新ウィザード」画面を閉じます。
- 13 「閉じる」をクリックして「プロパティ」を閉じます。
- 14 SAS カードが複数枚搭載されている場合は全てのデバイスドライバをアップデートします。
- 15 システムを再起動します。

2.3.2 SAS カードドライバのインストール

次の手順で SAS カードドライバのインストールを行います。

- 1 「スタート」ボタン→「管理ツール」→「コンピュータの管理」の順にクリックします。
- 2 「デバイスマネージャー」をクリックします。
- 3 「その他のデバイス」の「SCSI コントローラ」をダブルクリックします。
- 4 「ドライバ」タブを選択し、「ドライバの更新」をクリックします。
- 5 「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 6 「一覧または特定の場所からインストールする」を選択し「次へ」をクリックします。
- 7 「検索しないで、インストールするドライバを選択する」を選択して「次へ」をクリックします。
- 8 「SCSI と RAID コントローラ」を選択して、「次へ」をクリックします。
- 9 フロッピーディスクドライブに PRIMERGY スタートアップディスクから作成したフロッピーディスクを挿入してください。
- 10 ディスク使用をクリックし製造元のファイルのコピー元に "A : ¥" と入力し、「OK」をクリックします。
- 11 モデル欄から「LSI Adapter,SAS 3000 Series, ...」で始まるデバイスを選択し、「次へ」をクリックします。

SAS カードデバイス名については次表を参照してください。

SAS カード	デバイス名
PG-224B	LSI Adapter,SAS 3000 series,4-port with 1064E-StorPort
PG-228B/BL	LSI Adapter,SAS 3000 series,8-port with 1068E-StorPort

- 12 インストールが完了したら、「完了」をクリックし、「ハードウェア更新ウィザード」画面を閉じます。
- 13 「閉じる」をクリックして「プロパティ」画面を閉じます。
- 14 システムを再起動します。

第 3 章

Windows Server 2003 の インストール

3

手動で Windows Server 2003 をインストールする
手順を説明します。

- 3.1 インストール前の準備
- 3.2 インストール手順
- 3.3 SAS カードドライバのインストール

3.1 インストール前の準備

インストールを開始する前に必要な準備について説明します。

3.1.1 ドライバディスクの作成

インストールに必要なドライバディスクをあらかじめ作成します。ドライバディスクはご購入の本体に添付されている PRIMERGY スタートアップディスクを使用して作成します。ドライバディスクの作成方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。

■ アレイコントローラのドライバ

ご使用のアレイコントローラを確認のうえ、次のいずれかのドライバディスクを作成してください。

使用するアレイコントローラ	フロッピーディスク名称
SAS アレイコントローラカード (MegaRAID SAS)	MegaRAID SAS Windows Server 2003 Drivers Disk
SAS コントローラカード (Integrated Mirroring SAS) または、アレイ未構成時 (SAS ハードディスク)	Integrated Mirroring SAS Windows Server 2003 Drivers Disk

■ オンボード LAN / 拡張カードのドライバ

機種により作成するドライバディスクが異なります。ご使用の機種をご確認のうえ、ドライバディスクを作成してください。



最新のドライバは、インターネット情報ページ内の『ダウンロード』で提供しています。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>

オンボード LAN / 拡張カード	ドライバ
オンボード LAN/LAN カード (PG-285L/ PG-2861L/PG-289L/PG-288L)	Onboard / PG-18xx/28xx LAN Driver V13.1
SCSI カード (PG-2281L)	OS 標準提供のドライバ
上記以外の拡張カード	各拡張カードに添付のドライバ

3.1.2 アレイの構成

アレイ構成で運用を行う場合は、OS をインストールする前に、アレイを構成してください。

1 サーバの電源を入れます。

2 RAID を構成します。

使用するアレイコントローラにより、作成方法が異なります。

SAS コントローラカード (Integrated Mirroring SAS)

次のメッセージが画面に表示されたら **【Ctrl】 + 【C】** キーを押します。

```
Press Ctrl C to start LSI Logic Configuration Utility
```

BIOS Utility が起動します。

以降の操作は、アレイコントローラ ドキュメント & ツール CD 内の『Integrated Mirroring SAS ユーザーズガイド』を参照してください。

SAS アレイコントローラカード (MegaRAID SAS) を使用の場合

サーバ本体の電源を入れ、次のメッセージが画面に表示されたら **【Ctrl】 + 【H】** キーを押します。

```
Press <Ctrl><H> for WebBIOS or Press <Ctrl><Y> for Preboot CLI
```

WebBIOS が起動します。

以降の操作は、アレイコントローラ ドキュメント & ツール CD 内の『MegaRAID SAS ユーザーズガイド』を参照してください。

3 サーバの電源を切ります。

3.1.3 内蔵オプションの取り付け

OS インストールの前に、内蔵オプションを取り付けます。内蔵オプションの取り付け方法については、『ユーザーズガイド』の「第 6 章 内蔵オプションの取り付け」を参照してください。



OS をインストールするサーバに、次の内蔵／外付けオプション装置がすでに取り付けられている場合は、次の「■ OS インストール前の留意事項」を必ずご確認ください。留意事項を確認せずに OS をインストールすると、誤った媒体に OS がインストールされる場合がありますので、ご注意ください。

- ・内蔵データカートリッジドライブユニット
- ・内蔵ハードディスクユニットベイ変換機構
- ・ETERNUS などの外付けストレージシステム

■ OS インストール前の留意事項

● 内蔵データカートリッジドライブユニットをご使用の場合

インストール前に必ずデータカートリッジドライブの接続ケーブルを本体よりはずしてください。

インストール完了後接続ケーブルを再度接続し、ご使用ください。

● ETERNUS などの外付けストレージシステムをご使用の場合

AC ケーブルを接続しないなど、OS のインストールが終了するまで、外付けストレージシステムの電源を入れないでください。

3.2 インストール手順

Windows Server 2003、SBS 2003 の手動インストール手順について説明します。



- ◆ OS の詳細の設定については、次の URL を参照してください。
<http://technet2.microsoft.com/windowsserver/ja/default.mspx>
- ◆ 外付けのフロッピーディスクを使用する場合は、サーバの電源を入れる前に、USB 接続のフロッピーディスクドライブが接続されていることを確認してください。

■ 用意するもの

- Windows Server 2003 x64 の CD/DVD (インストールディスク)
- PRIMERGY スタートアップディスク (本体に添付)
- あらかじめ作成したドライバディスク

1 サーバの電源を入れます。

2 Windows Server 2003 の CD/DVD、アレイコントローラのドライバディスクをセットします。

サーバの電源を入れてすぐに Windows Server 2003 x64 の CD/DVD を CD/DVD ドライブに、アレイコントローラのドライバディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。ハードディスクにアクティブ領域が設定されていると、画面に次のメッセージが表示されます。

Press any key to boot from CD. . . .

この場合、メッセージが表示されている間に何かキーを押すことで、CD/DVD ドライブからブートします。

3 Windows Server 2003 x64 セットアップ画面が表示されます。

セットアップ画面表示直後に次のメッセージが画面下に表示されるので、【F6】キーを押します。

Press F6 if you need to install a third party SCSI or RAID driver ...



このメッセージは、セットアップ画面 (青い画面) が表示された直後のわずかな時間しか表示されませんので、画面が青色に変わった後すぐに【F6】キーを押してください。

4 アレイコントローラのドライバを手動で組み込みます。

1 次のメッセージが表示されたら【S】キーを押します。

To specify additional SCSI adapters, CD-ROM drives, or special disk controllers for use with Windows, including those for which you have a device support disk from a mass storage device manufacturer, press S.

2 「Please insert the disk labeled Manufacturer-supplied hardware support disk into Drive A:」というメッセージが表示されたら、【Enter】キーを押します。

次のメッセージが表示されます。

You have chosen to configure a SCSI Adapter for use with Windows, using a device support disk provided by an adapter manufacturer.
Select the SCSI Adapter you want from the following list, or press ESC to return to the previous screen.

なお、これらのメッセージは表示されない場合があります。

3 お使いのコントローラにより、次を選択して【Enter】キーを押します。

- ・ SAS コントローラカード (Integrated Mirroring SAS) の場合

LSI Logic Fusion-MPT SAS Driver (Server 2003 32-bit)

- ・ SAS アレイコントローラカード (MegaRAID SAS) の場合

LSI Logic MegaRAID SAS RAID Controller Driver (Server 2003 for 32-bit)

4 次のメッセージが表示された場合は、【S】キーを押します。

The driver you provided seems to be newer than the Windows default driver.

5 画面の指示に従って、インストールを行ってください。

インストール中にフロッピーディスクをセットするようメッセージが表示された場合は、ドライバディスクをセットして【Enter】キーを押してください。

5 セットアッププログラムの指示に従って、インストール作業を続行します。

インストール途中、ドライバが Windows との互換性を検証する Windows ログテストに合格していない旨のメッセージが表示された場合は、[はい] を選択してインストールを続行してください。

6 PRIMERGY スタートアップディスク (ServerStart) 内のホットフィックスモジュールを適用します。

次のコマンドを実行し、ホットフィックスモジュールを適用してください。

[CD/DVD ドライブ] : %HotFix%W2k3%WindowsServer2003-KB940467-v2-x86-ENU. exe

7 チップセットドライバをインストールします。**1 PRIMERGY スタートアップディスクをサーバにセットします。**

ServerStart の画面が表示された場合は、いったん ServerStart を終了します。

2 PRIMERGY スタートアップディスク内の次のコマンドを実行します。

[CD/DVD ドライブ] : %DRIVERS%ChipSet%Intel%5100%infinst_autol. exe

インストールウィザードが起動します。

3 [次へ] をクリックし、以降、画面の指示に従ってインストールを行ってください。**4 「セットアップ完了」と画面に表示されたら、PRIMERGY スタートアップディスクを CD/DVD ドライブから取り出し、[完了] をクリックしてシステムを再起動します。****8 ディスプレイドライバをインストールします。****1 PRIMERGY スタートアップディスクをサーバにセットします。**

ServerStart の画面が表示された場合は、いったん ServerStart を終了します。

2 PRIMERGY スタートアップディスク内の次のコマンドを実行します。**本体標準 VGA をご使用の場合**

[CD/DVD ドライブ] : %DRIVERS%VIDEO%MATROX%w2k3%install_kronos2_vga. bat

9 LAN ドライバをインストールします。

以下の Web から最新の LAN ドライバをダウンロードして、そのドライバと同時にダウンロードできる手順書にしたがって LAN ドライバをインストールしてください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>

また、デバイスマネージャで表示されるオンボード LAN の名称は次のようになります。

Intel® 82567LM-4 Gigabit Network Connection

10 SAS カードドライバをインストールします。

あらかじめ用意したドライバディスクを使用して、SAS カードドライバをインストールします。
詳細は [「3.3 SAS カードドライバのインストール \(P.23\)」](#) を参照してください。

11 Windows Server 2003 x64 Service Pack を適用します。

詳細については、画面の説明を参照してください。
Service Pack 適用時に、ドライバが Service Pack 内のドライバに置換される場合があります。詳細については、各ハードウェアに添付のマニュアルを参照してください。

12 高信頼ツールをインストールします。

サーバの安定稼働のため、本体に添付の PRIMERGY スタートアップディスクから、高信頼ツールのインストールを行ってください。インストール手順などは『ユーザーズガイド』を参照してください。

13 RAID 管理ツール (ServerView RAID) のインストールおよび各ツールの設定を行います。

必要な設定はご使用のアレイコントローラによります。詳細および設定方法については、アレイコントローラ ドキュメント & ツール CD 内のマニュアルを参照してください。

- アレイ管理者アカウントの設定
- HDD チェックスケジューラの設定
- バッテリリキャリブレーションスケジューラの設定
- 監視端末もしくは e-メールによる故障イベント監視設定

これで Windows Server 2003 のインストールは終了です。

■ 運用を開始する前に

OS インストール後は『ユーザーズガイド』の「OS インストール後の操作」を参照し、必要な操作を行ってください。

3.3 SAS カードドライバのインストール

3.3.1 SAS カードドライバの更新

次の手順で SAS カードドライバの更新を行います。

- 1 「スタート」ボタン→「管理ツール」→「コンピュータの管理」の順にクリックします。
- 2 「デバイスマネージャー」をクリックします。
- 3 「SCSI と RAID コントローラ」をダブルクリックします。
- 4 「LSI Adapter, SAS 3000 Series,・・・」で始まるデバイスをダブルクリックします。

SAS カードデバイス名については次表を参照してください。

SAS カード	デバイス名
PG-224B	LSI Adapter,SAS 3000 series,4-port with 1064E-StorPort
PG-228B/B	LLSI Adapter,SAS 3000 series,8-port with 1068E-StorPort

- 5 [ドライバ] タブを選択し [ドライバの更新] をクリックします。
- 6 「いいえ、今回は接続しません」を選択し、[次へ] をクリックします。
- 7 「一覧または特定の場所からインストールする」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 8 「検索しないで、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 9 フロッピーディスクドライブに PRIMERGY スタートアップディスクから作成したフロッピーディスクを挿入してください。
- 10 ディスク使用をクリックし製造元のファイルのコピー元に "A : ¥" と入力し、「OK」をクリックします。
- 11 モデル欄から「LSI Adapter, SAS 3000 series, 4-port with 1064E- StorPort」または「LSI Adapter, SAS 3000 series, 8-port with 1068E- StorPort」で始まるデバイスを選択し、「次へ」をクリックします。
- 12 インストールが完了したら「完了」をクリックし、「ハードウェアの更新ウィザード」画面を閉じます。
- 13 「閉じる」をクリックして「プロパティ」を閉じます。
- 14 SAS カードが複数枚搭載されている場合は全てのデバイスドライバをアップデートします。
- 15 システムを再起動します。

3.3.2 SAS カードドライバのインストール

次の手順で SAS カードドライバのインストールを行います。

- 1 「スタート」ボタン→「管理ツール」→「コンピュータの管理」の順にクリックします。
- 2 「デバイスマネージャー」をクリックします。
- 3 「その他のデバイス」の「SCSI コントローラ」をダブルクリックします。
- 4 「ドライバ」タブを選択し、「ドライバの更新」をクリックします。
- 5 「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 6 「一覧または特定の場所からインストールする」を選択し「次へ」をクリックします。
- 7 「検索しないで、インストールするドライバを選択する」を選択して「次へ」をクリックします。
- 8 「SCSI と RAID コントローラ」を選択して、「次へ」をクリックします。
- 9 フロッピーディスクドライブに PRIMERGY スタートアップディスクから作成したフロッピーディスクを挿入してください。
- 10 ディスク使用をクリックし製造元のファイルのコピー元に "A : ¥" と入力し、「OK」をクリックします。
- 11 モデル欄から「LSI Adapter,SAS 3000 Series, ...」で始まるデバイスを選択し、「次へ」をクリックします。

SAS カードデバイス名については次表を参照してください。

SAS カード	デバイス名
PG-224B	LSI Adapter,SAS 3000 series,4-port with 1064E-StorPort
PG-228B/BL	LSI Adapter,SAS 3000 series,8-port with 1068E-StorPort

- 12 インストールが完了したら、「完了」をクリックし、「ハードウェア更新ウィザード」画面を閉じます。
- 13 「閉じる」をクリックして「プロパティ」画面を閉じます。
- 14 システムを再起動します。

第 4 章

Windows Server 2008 の インストール

4

手動で Windows Server 2008 をインストールする
手順を説明します。

- 4.1 インストール前の準備
- 4.2 インストール手順
- 4.3 SAS カードドライバの更新

*Windows Server 2008 の対応状況について

弊社 HP(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/>) に随時最新情報を掲載しておりますので、ご確認ください。

また、一部の製品では、製品添付のソフトウェアは Windows Server 2008 に対応しておりません。

4.1 インストール前の準備

インストールを開始する前に必要な準備について説明します。

4.1.1 ドライバディスクの作成

インストールに必要なドライバディスクをあらかじめ作成します。ドライバディスクはご購入の本体に添付されている PRIMERGY スタートアップディスクを使用し、作成する場合と、Web からダウンロードして作成する場合があります。

- PRIMERGY スタートアップディスクを使用してドライバディスクを作成する方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。
- Web (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>) からダウンロードしてドライバを作成する方法については、Web に公開されている手順書を参照してください。
- アレイコントローラドキュメント&ツール CD は Web から最新版をダウンロードして作成してください。
- PCI-Express SAS Card Document & Tool CD は Web から最新版をダウンロードして作成してください。

■ アレイコントローラのドライバ

Windows Server 2008 をインストールする前に、必要なドライバを用意してください。

使用するアレイコントローラ	フロッピーディスク名称
SAS アレイコントローラカード (MegaRAID SAS)	アレイコントローラ ドキュメント&ツール CD からインストールします。
SAS コントローラカード (Integrated Mirroring SAS)	アレイコントローラ ドキュメント&ツール CD からインストールします。

■ オンボード LAN / 拡張カードのドライバ

機種により作成するドライバディスクが異なります。ご使用の機種をご確認のうえ、ドライバディスクを作成してください。



最新のドライバは、インターネット情報ページ内の『ダウンロード』で提供しています。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>

オンボード LAN / 拡張カード	ドライバ
オンボード LAN/LAN カード (PG-285L/PG-2861L/PG-289L/PG-288L)	Onboard / PG-18xx/28xx LAN Driver V13.1
SCSI カード (PG-2281L)	OS 標準提供のドライバ
ディスプレイドライバ	Onboard VIDEO Driver for Windows 2008/2008 x64
上記以外の拡張カード	各拡張カードに添付のドライバ

4.1.2 アレイの構成

アレイ構成で運用を行う場合は、OS をインストールする前に、アレイを構成してください。

- 1 サーバの電源を入れます。
- 2 RAID を構成します。

使用するアレイコントローラにより、作成方法が異なります。

オンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID SATA) を使用の場合

次のメッセージが画面に表示されたら **【Ctrl】 + 【M】** キーまたは **【Enter】** キーを押します。

```
Press Ctrl-M or Enter to run LSI Software RAID Setup Utility.
```

SATA セットアップユーティリティが起動し、Management Menu が表示されます。

以降の操作は、アレイコントローラ ドキュメント & ツール CD 内の『Embedded MegaRAID SATA ユーザーズガイド』を参照してください。

SAS コントローラカードまたはオンボード IM (Integrated Mirroring SAS) を使用の場合

次のメッセージが画面に表示されたら **【Ctrl】 + 【C】** キーを押します。

```
Press Ctrl C to start LSI Logic Configuration Utility
```

BIOS Utility が起動します。

以降の操作は、アレイコントローラ ドキュメント & ツール CD 内の『Integrated Mirroring SAS ユーザーズガイド』を参照してください。

SAS アレイコントローラカード (MegaRAID SAS) を使用の場合

サーバ本体の電源を入れ、次のメッセージが画面に表示されたら **【Ctrl】 + 【H】** キーを押します。

```
Press <Ctrl><H> for WebBIOS
```

WebBIOS が起動します。

以降の操作は、アレイコントローラ ドキュメント & ツール CD 内の『MegaRAID SAS ユーザーズガイド』を参照してください。

- 3 サーバの電源を切ります。

4.1.3 内蔵オプションの取り付け

OS インストールの前に、内蔵オプションを取り付けます。内蔵オプションの取り付け方法については、『ユーザーズガイド』の「第 6 章 内蔵オプションの取り付け」を参照してください。



OS をインストールするサーバに、次の内蔵／外付けオプション装置がすでに取り付けられている場合は、次の「■ OS インストール前の留意事項」を必ずご確認ください。留意事項を確認せずに OS をインストールすると、誤った媒体に OS がインストールされる場合がありますので、ご注意ください。

- ・内蔵データカートリッジドライブユニット
- ・内蔵ハードディスクユニットベイ変換機構
- ・ETERNUS などの外付けストレージシステム

■ OS インストール前の留意事項

● 内蔵データカートリッジドライブユニットをご使用の場合

インストール前に必ずデータカートリッジドライブの接続ケーブルを本体よりはずしてください。インストール完了後接続ケーブルを再度接続し、ご使用ください。

● ETERNUS などの外付けストレージシステムをご使用の場合

AC ケーブルを接続しないなど、OS のインストールが終了するまで、外付けストレージシステムの電源を入れないでください。

4.2 インストール手順

Windows Server 2008 の手動インストール手順について説明します。

1 Windows Server 2008 の DVD-ROM を準備します。

サーバの電源を入れた直後に Windows Server 2008 の DVD-ROM (※) を CD/DVD ドライブにセットします。

※ 32-bit 用と 64-bit 用の DVD-ROM がありますので、確認してセットしてください。

ハードディスクにアクティブ領域が設定されていると、画面に次のメッセージが表示されます。

Press any key to boot from CD or DVD

この場合、メッセージが表示されている間に何かキーを押すことで、DVD-ROM からブートします。

2 Windows Server 2008 インストールのセットアップ画面が表示されます。

画面に従って各項目を設定した後、[次へ] をクリックします。その後、セットアップ画面に従って、インストール作業を続行します。

※ Bit Locker を使用する場合は、インストール時に指定のパーティション構成をする必要があります。詳しくは『Bit Locker 手順書』を参照してください。



3 RAID のドライバを手動で組み込みます。

使用するドライバにより手順が異なります。

- [アレイ未構成時 \(P.30\)](#)
- [SAS アレイコントローラカード \(MegaRAID SAS\) 使用時 \(P.30\)](#)
- [SAS コントローラカード \(Integrated Mirroring SAS\) 使用時 \(P.32\)](#)

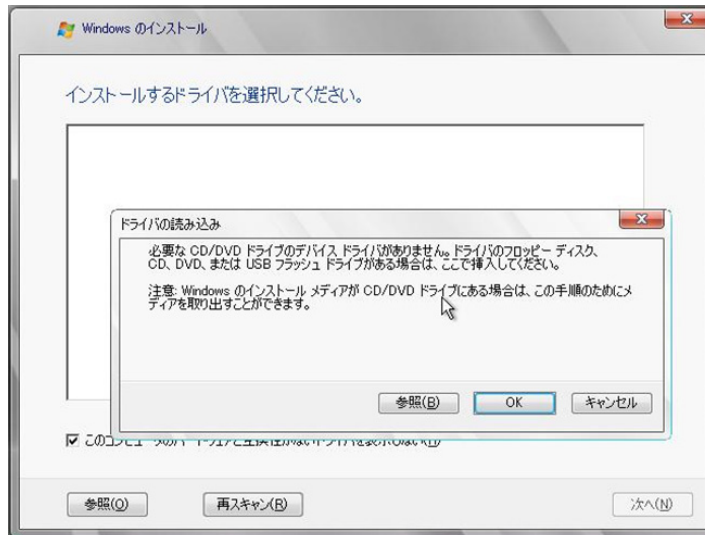
システムの構成によっては、手順 4・手順 5 と順序が逆になることがあります。

アレイ未構成時

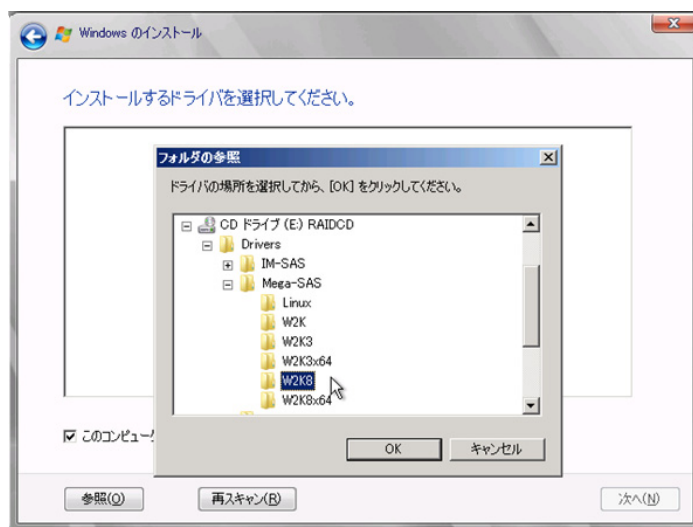
ドライバの手動インストールは不要です。[手順 4\(P.34\)](#) へ進みます。

SAS アレイコントローラカード (MegaRAID SAS) 使用時

次の画面が表示された後、「ドライバの読み込み」をクリックしドライバインストール画面に移動します。



次の画面で、Windows インストール DVD をアレイコントローラドキュメント&ツール CD に入れ替えた後、[参照] をクリックします。



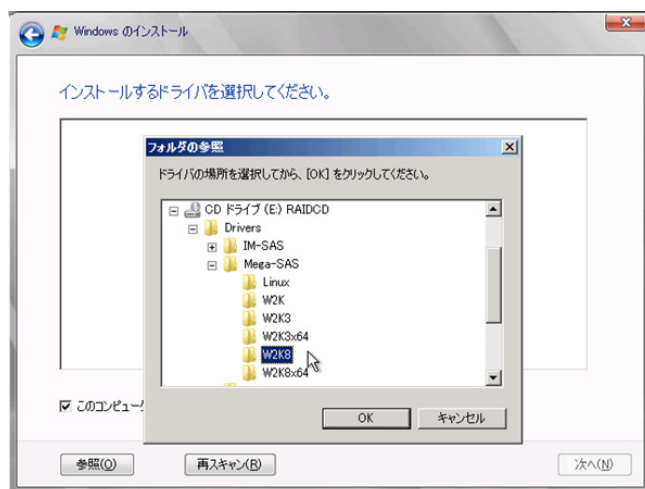
インストールドライバの入っているフォルダを選択します。
次のフォルダを選択し、[OK] をクリックしてください。

Windows Server 2008 Standard/Enterprise (32-bit) の場合

[CD/DVD ドライブ] : ¥Drivers¥Mega-SAS¥W2K8

Windows Server 2008 Standard/Enterprise (64-bit) の場合

[CD/DVD ドライブ] : ¥Drivers¥Mega-SAS¥W2K8x64



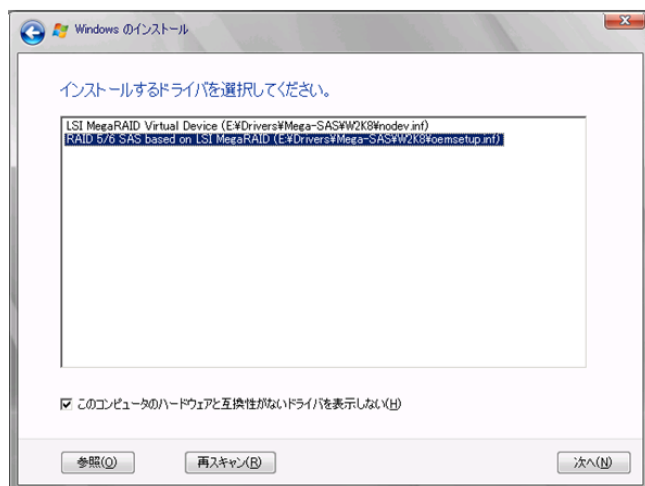
下記のドライバを選択し [次へ] をクリックしてください。

Windows Server 2008 Standard/Enterprise (32-bit) の場合

RAID 5/6 SAS based on LSI MegaRAID
 ([CD/DVD ドライブ] :¥Drivers¥Mega-SAS¥W2K8¥oemsetup.inf)

Windows Server 2008 Standard/Enterprise (64-bit) の場合

RAID 5/6 SAS based on LSI MegaRAID
 ([CD/DVD ドライブ] :¥Drivers¥Mega-SAS¥W2K8x64¥oemsetup.inf)



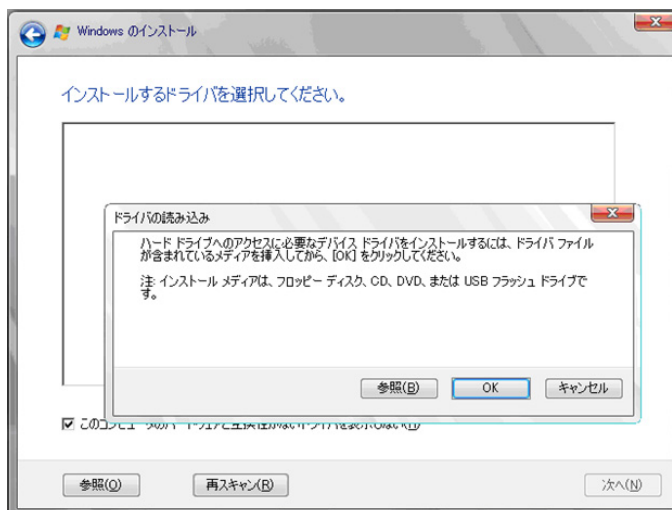
Windows インストール DVD に戻した後、[手順 4\(P.34\)](#) へ進みます。

SAS コントローラカード /(Integrated Mirroring SAS) 使用時

- 1 次の画面が表示された後、「ドライバの読み込み」をクリックし、ドライバインストール画面に移動します。



- 2 次の画面で、Windows インストール DVD をアレイコントローラドキュメント&ツール CD に入れ替えた後、[参照] をクリックします。



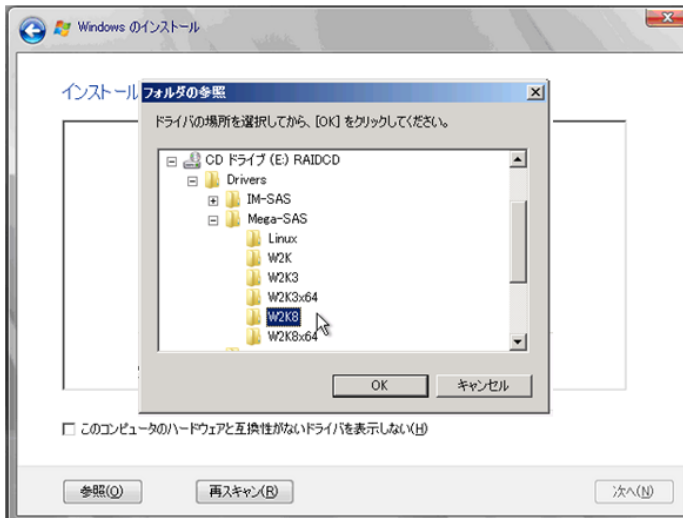
- 3 インストールドライバの入っているフォルダを選択します。次のフォルダを選択し、[OK] をクリックしてください。

Windows Server 2008 Standard/Enterprise (32-bit) の場合

[CD/DVD ドライブ] : ¥Drivers¥IM-SAS¥W2K8

Windows Server 2008 Standard/Enterprise (64-bit) の場合

[CD/DVD ドライブ] : ¥Drivers¥IM-SAS¥W2K8x64



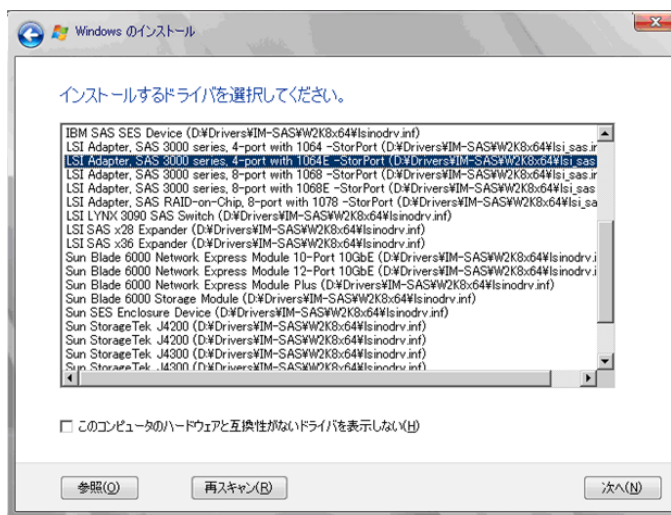
4 次のドライバを選択し [次へ] をクリックしてください。

Windows Server 2008 Standard/Enterprise (32-bit) の場合

LSI Adapter, SAS 3000 series, 4-port with 1064E -StorPort
([CD/DVD ドライブ] :%Drivers%IM-SAS%W2K8%lsi_sas.inf)

Windows Server 2008 Standard/Enterprise (64-bit) の場合

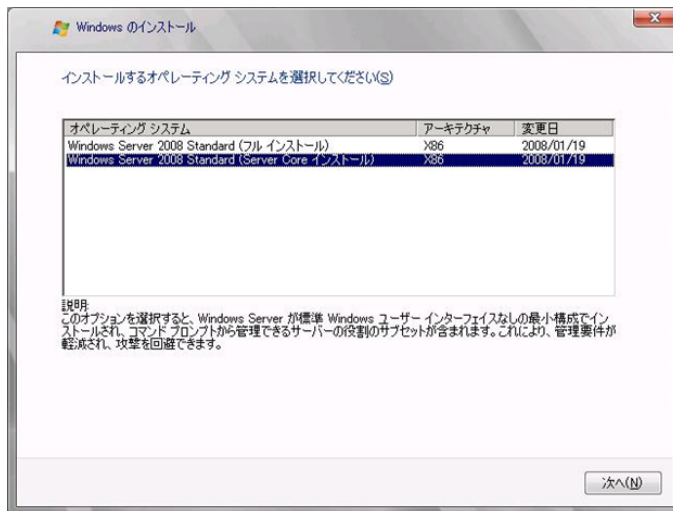
LSI Adapter, SAS 3000 series, 4-port with 1064E -StorPort
([CD/DVD ドライブ] :%Drivers%IM-SAS%W2K8x64%lsi_sas.inf)



5 Windows インストール DVD に戻した後、[手順 4\(P.34\)](#) へ進みます。

4 インストールする Operating System を選択します。

次の画面から「Windows Server 2008 Standard (フルインストール)」を選択します。



5 次の画面が表示されたら内容をよく読んだうえで、[条項に同意します] にチェックをつけて、[次へ] をクリックします。

セットアッププログラムにより、OS のインストール作業が自動で行われます (数回、再起動されます)。



6 LAN ドライバをインストールします。

以下の Web から最新の LAN ドライバをダウンロードして、そのドライバと同時にダウンロードできる手順書にしたがって LAN ドライバをインストールしてください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>

また、デバイスマネージャで表示されるオンボード LAN の名称は次のようになります。

Intel® 82567LM-4 Gigabit Network Connection

7 Intel Chipset のドライバをインストールします。

1 PRIMERGY スタートアップディスクをサーバにセットします。

ServerStart の画面が表示された場合は、いったん ServerStart を終了します。

2 PRIMERGY スタートアップディスク内の次のコマンドを実行します。

[CD/DVD ドライブ] :%DRIVERS%ChipSet%Intel%5100%infinst_autol.exe

8 ディスプレイドライバをインストールします。

「install_kronos1_vga.bat」をダブルクリックして実行します。完了後、再起動します。

9 SAS カードのドライバをインストールします。

詳細は [「4.3 SAS カードドライバの更新 \(P.36\)」](#) を参照してください。

10 RAID 管理ツール (ServerView RAID) のインストールおよび各ツールの設定を行います。

必要な設定は、ご使用のアレイコントローラにより異なります。詳細および設定方法については、アレイコントローラ ドキュメント & ツール CD 内のマニュアルを参照してください。

- アレイ管理者アカウントの設定
- HDD チェックスケジューラの設定
- バッテリリキャリブレーションスケジューラの設定
- 監視端末もしくは e-メールによる故障イベント監視設定

11 ServerView をインストールします。

ServerView は Web (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>) からダウンロードしてください。インストール方法については、次のマニュアルを参照してください。

名称	マニュアル
ServerView Agent	ServerView ユーザーズガイド (Windows エージェント編)
ServerView Console	ServerView ユーザーズガイド

12 必要な OS のホットフィックスをインストールします。

安定稼動のために、下記 URL の「留意事項」に必要なホットフィックスの情報を掲載しておりますので、参照していただき、対応してください。なお、ホットフィックスの入手については、マイクロソフトのダウンロードセンターより入手していただくか、SupportDesk 契約を結んでいるお客様は、SupportDesk へお問い合わせください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/os/2008/>

■ 運用を開始する前に

OS インストール後は『ユーザーズガイド』の「第 4 章 OS インストール後の操作」を参照し、必要な操作を行ってください。

4.3 SAS カードドライバの更新

SAS カードドライバの更新を行う場合は Web からダウンロードした PCI-Express SAS Card Document & Tool CD 中の Readme.html を参照し、ドライバの版数を確認してください。インストールされているドライバ版数の方が新しければ、本作業は必要ありません。

SAS カードドライバの更新方法は次のとおりです。

- 1 PCI-Express SAS Card Document & Tool CD をサーバの CD/DVD ドライブにセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「管理ツール」→「コンピュータの管理」の順にクリックします。
- 3 「デバイスマネージャー」をクリックします。
- 4 「記憶域コントローラ」をダブルクリックします。
- 5 配下の「LSI Adapter, SAS 3000 series,...」で始まるデバイスをダブルクリックします。

SAS カードデバイス名については次表を参照してください。

SAS カード	デバイス名
PG-224B	LSI Adapter,SAS 3000 series,4-port with 1064E-StorPort
PG-228B/BL	LSI Adapter,SAS 3000 series,8-port with 1068E-StorPort

- 6 [ドライバ] タブを選択し [ドライバの更新] をクリックします。
ドライバソフトウェアの更新」画面が表示されます。
- 7 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します」を選択します。
- 8 「コンピュータ上のデバイスドライバの一覧から選択します」を選択します。
- 9 「ディスク使用」をクリックします。
- 10 「参照」をクリックし、以下のファイルを選択します。

windows Server 2008 の場合

[CD/DVD ドライブ]:%Drivers¥IM-SAS¥W2K8¥lsi_sas.inf

windows Server 2008 (64-bit) の場合

[CD/DVD ドライブ]:%Drivers¥IM-SAS¥W2K8x64¥lsi_sas.inf

- 11 「OK」をクリックします。
- 12 一覧にドライバが表示されていることを確認し、「次へ」をクリックします。
- 13 ドライバの更新が完了したら「閉じる」をクリックし、「ドライバソフトウェアの更新」画面を閉じます。
- 14 「OK」をクリックして、プロパティ画面を閉じます。
- 15 複数の SAS カードが搭載されている場合は全てのデバイスドライバをアップデートします。
全てのデバイスドライバのアップデートが完了するまで、手順 5～14 を繰り返してください。
- 16 全てのデバイスドライバのアップデートが完了したら、CD/DVD ドライブから PCI-Express SAS Card Document & Tool CD を取り出します。
- 17 システムを再起動します。

第 5 章

5

Windows Server 2008 Server Core の インストール

手動で Windows Server 2008 Server Core をインストールする手順を説明します。

- 5.1 インストール前の準備
- 5.2 インストール手順
- 5.3 SAS カードドライバのインストール

*Windows Server 2008 の対応状況について

弊社 HP(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/>) に随時最新情報を掲載しておりますので、ご確認ください。

また、一部の製品では、製品添付のソフトウェアは Windows Server 2008 に対応しておりません。

5.1 インストール前の準備

インストールを開始する前に必要な準備について説明します。

5.1.1 ドライバディスクの作成

インストールに必要なドライバディスクをあらかじめ作成します。ドライバディスクはご購入の本体に添付されている PRIMERGY スタートアップディスクを使用し作成する場合と、Web からダウンロードして作成する場合があります。

- PRIMERGY スタートアップディスクを使用してドライバディスクを作成する方法については、『ユーザーズガイド』を参照してください。
- Web (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>) からダウンロードしてドライバを作成する方法については、Web に公開されている手順書を参照してください。
- アレイコントローラドキュメント&ツール CD は Web から最新版をダウンロードして作成してください。
- PCI-Express SAS Card Document & Tool CD は Web から最新版をダウンロードして作成してください。

■ アレイコントローラのドライバ

Windows Server 2008 Server Core をインストールする前に、必要なドライバを用意してください。

使用するアレイコントローラ	フロッピーディスク名称
SAS アレイコントローラカード (MegaRAID SAS)	アレイコントローラ ドキュメント&ツール CD からインストールします。
SAS コントローラカード (Integrated Mirroring SAS)	アレイコントローラ ドキュメント&ツール CD からインストールします。

■ オンボード LAN / 拡張カードのドライバ

機種により作成するドライバディスクが異なります。ご使用の機種をご確認のうえ、ドライバディスクを作成してください。



最新のドライバは、インターネット情報ページ内の『ダウンロード』で提供しています。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>

オンボード LAN / 拡張カード	ドライバ
オンボード LAN/LAN カード (PG-285L/PG-2861L/PG-289L/PG-288L)	Onboard / PG-18xx/28xx LAN Driver V13.1
SCSI カード (PG-2281L)	OS 標準提供のドライバ
ディスプレイドライバ	Onboard VIDEO Driver for Windows 2008/2008 x64
上記以外の拡張カード	各拡張カードに添付のドライバ

5.1.2 アレイの構成

アレイ構成で運用を行う場合は、OS をインストールする前に、アレイを構成してください。

1 サーバの電源を入れます。

2 RAID を構成します。

使用するアレイコントローラにより、作成方法が異なります。

SAS コントローラカード (Integrated Mirroring SAS) を使用の場合

次のメッセージが画面に表示されたら【Ctrl】 + 【C】 キーを押します。

```
Press Ctrl C to start LSI Logic Configuration Utility
```

BIOS Utility が起動します。

以降の操作は、アレイコントローラ ドキュメント & ツール CD 内の『Integrated Mirroring SAS ユーザーズガイド』を参照してください。

SAS アレイコントローラカード (MegaRAID SAS) を使用の場合

サーバ本体の電源を入れ、次のメッセージが画面に表示されたら【Ctrl】 + 【H】 キーを押します。

```
Press <Ctrl><H> for WebBIOS or Press <Ctrl><Y> for Preboot CLI
```

WebBIOS が起動します。

以降の操作は、アレイコントローラ ドキュメント & ツール CD 内の『MegaRAID SAS ユーザーズガイド』を参照してください。

3 サーバの電源を切ります。

5.1.3 内蔵オプションの取り付け

OS インストールの前に、内蔵オプションを取り付けます。内蔵オプションの取り付け方法については、『ユーザーズガイド』の「第 6 章 内蔵オプションの取り付け」を参照してください。



OS をインストールするサーバに、次の内蔵／外付けオプション装置がすでに取り付けられている場合は、次の「■ OS インストール前の留意事項」を必ずご確認ください。留意事項を確認せずに OS をインストールすると、誤った媒体に OS がインストールされる場合がありますので、ご注意ください。

- ・内蔵データカートリッジドライブユニット
- ・内蔵ハードディスクユニットベイ変換機構
- ・ETERNUS などの外付けストレージシステム

■ OS インストール前の留意事項

● 内蔵データカートリッジドライブユニットをご使用の場合

インストール前に必ずデータカートリッジドライブの接続ケーブルを本体よりはずしてください。インストール完了後接続ケーブルを再度接続し、ご使用ください。

● ETERNUS などの外付けストレージシステムをご使用の場合

AC ケーブルを接続しないなど、OS のインストールが終了するまで、外付けストレージシステムの電源を入れないでください。

5.2 インストール手順

Windows Server 2008 Server Core の手動インストール手順について説明します。

1 Windows Server 2008 の DVD-ROM を準備します。

サーバの電源を入れた直後に Windows Server 2008 の DVD-ROM (※) を CD/DVD ドライブにセットします。

※ 32-bit 用と 64-bit 用の DVD-ROM がありますので、確認してセットしてください。

ハードディスクにアクティブ領域が設定されていると、画面に次のメッセージが表示されます。

Press any key to boot from CD or DVD

この場合、メッセージが表示されている間に何かキーを押すことで、DVD-ROM からブートします。

2 Windows Server 2008 インストールのセットアップ画面が表示されます。

画面に従って各項目を設定した後、[次へ] をクリックします。その後、セットアップ画面に従って、インストール作業を続行します。

※ Bit Locker を使用する場合は、インストール時に指定のパーティション構成をする必要があります。詳しくは『Bit Locker 手順書』を参照してください。



3 RAID のドライバを手動で組み込みます。

使用するドライバにより手順が異なります。

- [アレイ未構成時 \(P.42\)](#)
- [SAS アレイコントローラカード \(MegaRAID SAS\) 使用時 \(P.42\)](#)
- [SAS コントローラカード / \(Integrated Mirroring SAS\) 使用時 \(P.44\)](#)

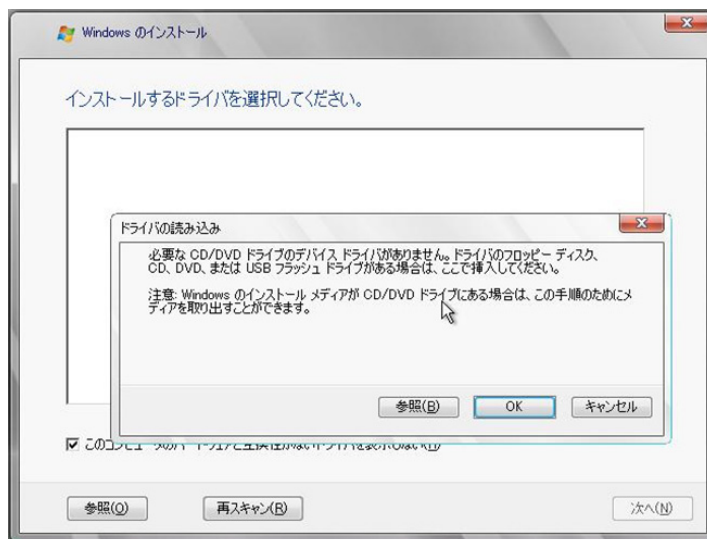
システムの構成によっては、手順 4・手順 5 と順序が逆になることがあります。

アレイ未構成時

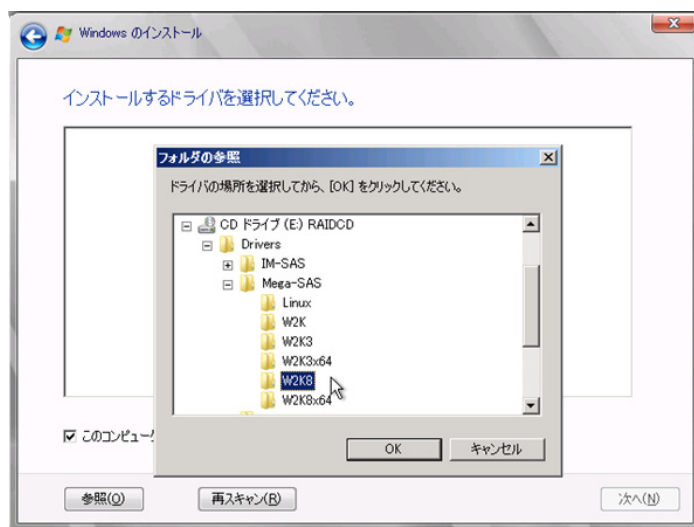
ドライバの手動インストールは不要です。[手順 4\(P.46\)](#) へ進みます。

SAS アレイコントローラカード (MegaRAID SAS) 使用時

次の画面が表示された後、「ドライバの読み込み」をクリックしドライバインストール画面に移動します。



次の画面で、Windows インストール DVD をアレイコントローラドキュメント&ツール CD に入れ替えた後、[参照] をクリックします。



インストールドライバの入っているフォルダを選択します。

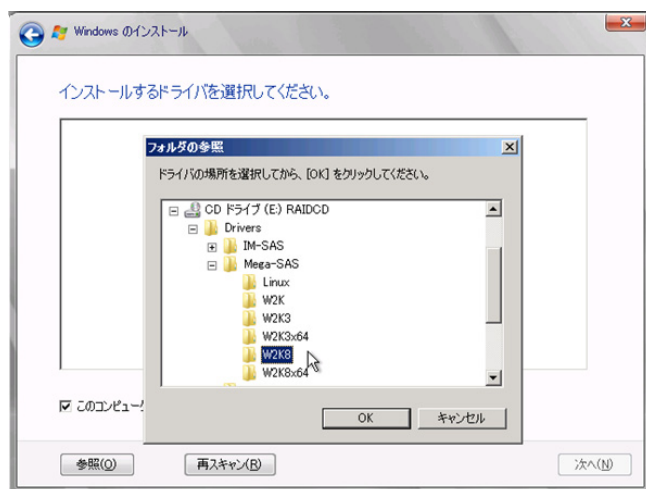
次のフォルダを選択し、[OK] をクリックしてください。

Windows Server 2008 Standard/Enterprise (32-bit) の場合

[CD/DVD ドライブ] : ¥Drivers¥Mega-SAS¥W2K8

Windows Server 2008 Standard/Enterprise (64-bit) の場合

[CD/DVD ドライブ] : ¥Drivers¥Mega-SAS¥W2K8x64



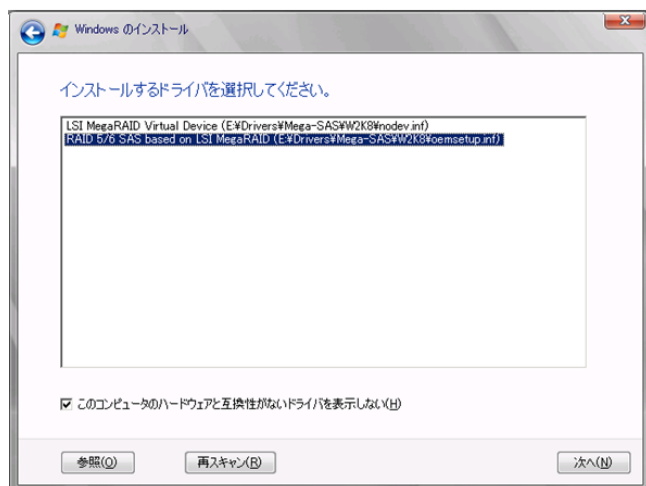
下記のドライバを選択し [次へ] をクリックしてください。

Windows Server 2008 Standard/Enterprise (32-bit) の場合

RAID 5/6 SAS based on LSI MegaRAID
 ([CD/DVD ドライブ] :%Drivers%Mega-SAS%W2K8%oemsetup.inf)

Windows Server 2008 Standard/Enterprise (64-bit) の場合

RAID 5/6 SAS based on LSI MegaRAID
 ([CD/DVD ドライブ] :%Drivers%Mega-SAS%W2K8x64%oemsetup.inf)



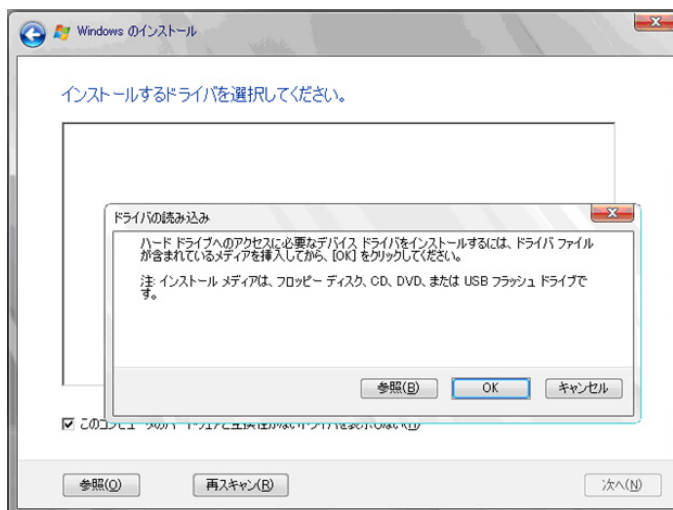
Windows インストール DVD に戻した後、[手順 4\(P.46\)](#) へ進みます。

SAS コントローラカード / (Integrated Mirroring SAS) 使用時

- 1 次の画面が表示された後、「ドライバの読み込み」をクリックし、ドライバインストール画面に移動します。



- 2 次の画面で、Windows インストール DVD をアレイコントローラドキュメント&ツール CD に入れ替えた後、[参照] をクリックします。



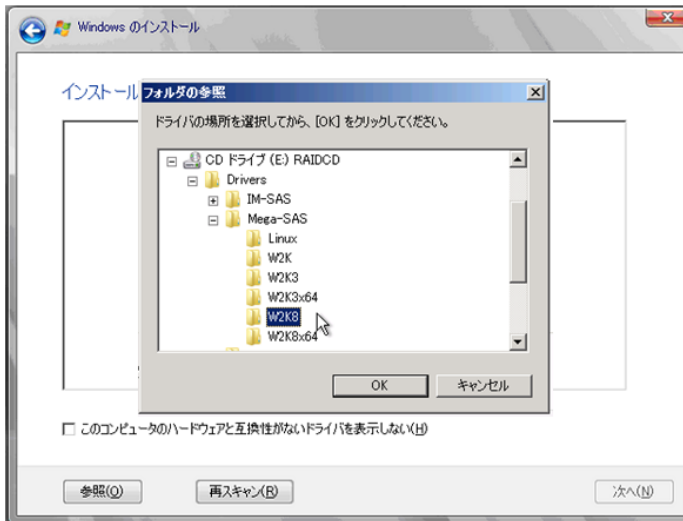
- 3 インストールドライバの入っているフォルダを選択します。
次のフォルダを選択し、[OK] をクリックしてください。

Windows Server 2008 Standard/Enterprise (32-bit) の場合

[CD/DVD ドライブ] : ¥Drivers¥IM-SAS¥W2K8

Windows Server 2008 Standard/Enterprise (64-bit) の場合

[CD/DVD ドライブ] : ¥Drivers¥IM-SAS¥W2K8x64



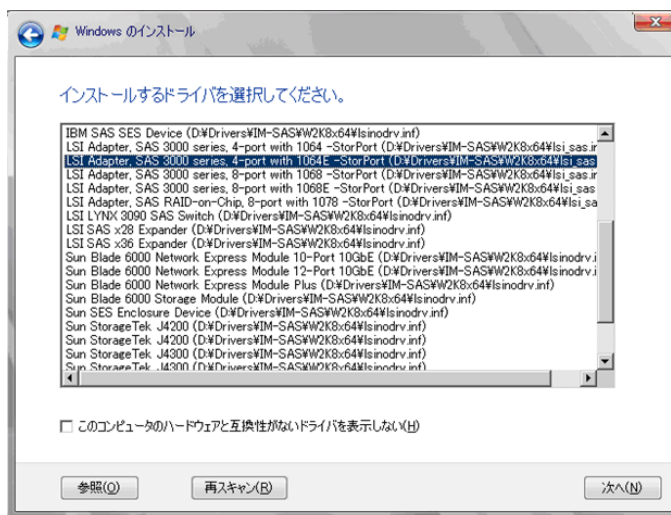
4 次のドライバを選択し [次へ] をクリックしてください。

Windows Server 2008 Standard/Enterprise (32-bit) の場合

LSI Adapter, SAS 3000 series, 4-port with 1064E -StorPort
([CD/DVD ドライブ] :%Drivers%IM-SAS%W2K8%lsi_sas.inf)

Windows Server 2008 Standard/Enterprise (64-bit) の場合

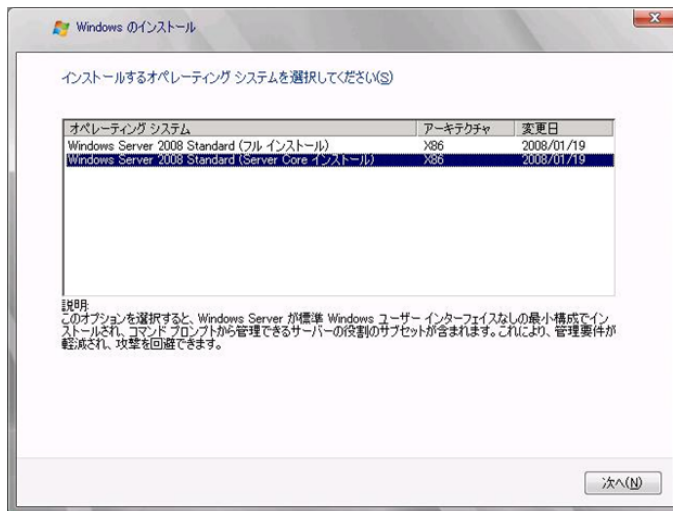
LSI Adapter, SAS 3000 series, 4-port with 1064E -StorPort
([CD/DVD ドライブ] :%Drivers%IM-SAS%W2K8x64%lsi_sas.inf)



5 Windows インストール DVD に戻した後、[手順 4\(P.46\)](#) へ進みます。

4 インストールする Operating System を選択します。

次の画面から「Windows Server 2008 Standard (Server Core インストール)」を選択します。



5 次の画面が表示されたら内容をよく読んだうえで、[条項に同意します] にチェックをつけて、[次へ] をクリックします。

セットアッププログラムにより、OS のインストール作業が自動で行われます (数回、再起動されます)。



6 LAN ドライバをインストールします。

以下の Web から最新の LAN ドライバをダウンロードして、そのドライバと同時にダウンロードできる手順書にしたがって LAN ドライバをインストールしてください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>

7 Intel Chipset のドライバをインストールします。

1 PRIMERGY スタートアップディスクをサーバにセットします。

ServerStart の画面が表示された場合は、いったん ServerStart を終了します。

2 PRIMERGY スタートアップディスク内の次のコマンドを実行します。

[CD/DVD ドライブ] : ¥DRIVERS¥ChipSet¥Intel¥5100¥inf inst_autol.exe

8 SAS カードのドライバをインストールします。

詳細は「[5.3 SAS カードドライバのインストール \(P.48\)](#)」を参照してください。

9 SNMP サービスをインストールします。

1 次のコマンドを実行します。(大文字・小文字の区別がされます)

```
>start /w ocsetup SNMP-SC
```

2 正常にインストールされていることを確認します。

```
>oclist | findstr SNMP
```

実行後、次のメッセージが表示されていれば、正常にインストールされています。
インストール済み：SNMP-SC

10 RAID 管理ツール (ServerView RAID) のインストールおよび各ツールの設定を行います。

必要な設定は、ご使用のアレイコントローラにより異なります。詳細および設定方法については、アレイコントローラ ドキュメント & ツール CD 内のマニュアルを参照してください。

- アレイ管理者アカウントの設定
- HDD チェックスケジューラの設定
- バッテリリキャリブレーションスケジューラの設定
- 監視端末もしくは e-メールによる故障イベント監視設定

11 ServerView Agent をインストールします。

ServerView Agent は Web (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>) からダウンロードしてください。インストール方法については、『ServerView ユーザーズガイド (Windows エージェント編)』を参照してください。



Windows Server 2008 Server Core には、ServerView Console と ServerView RemoteControlService はインストールできません。インストールする場合は、別途、インストール可能なシステムが必要になります。

12 必要な OS のホットフィックスをインストールします。

安定稼動のために、下記 URL の「留意事項」に必要なホットフィックスの情報を掲載しておりますので、参照していただき、対応してください。なお、ホットフィックスの入手については、マイクロソフトのダウンロードセンターより入手していただくか、SupportDesk 契約を結んでいるお客様は、SupportDesk へお問い合わせください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/os/2008/>

■ 運用を開始する前に

OS インストール後は『ユーザーズガイド』の「第 4 章 OS インストール後の操作」を参照し、必要な操作を行ってください。

5.3 SAS カードドライバのインストール

SAS カードドライバのインストール方法を以下に示します。

- 1 PCI-Express SAS Card Document & Tool CD をサーバの CD/DVD ドライブにセットします。
- 2 コマンドプロンプトから次のコマンドを実行します。

Windows Server 2008 の場合

```
Pnputil -I -a [CD/DVD ドライブ] : ¥Drivers¥IM-SAS¥W2K8¥Isi_sas.inf
```

Windows Server 2008 (x64) の場合

```
Pnputil -I -a [CD/DVD ドライブ] : ¥Drivers¥IM-SAS¥W2K8x64¥Isi_sas.inf
```

- 3 デバイスドライバのアップデートが完了したら、CD/DVD ドライブから PCI-Express SAS Card Document & Tool CD を取り出します。
- 4 システムを再起動します。

OS の手動インストール
CA92276-8438-01
発行日 2009 年 1 月
発行責任富士通株式会社

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。